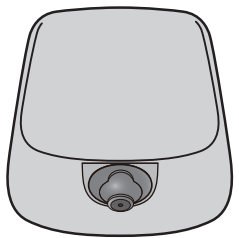


EMBLEM REAR CAMERA KIT

エンブレム リアカメラキット

鏡像 / 正像出力切り替え可

12V車 専用



取付/取扱説明書

- このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
 - 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご相談窓口

サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:30
(年末年始・祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC)

<http://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)

<http://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



Data System 株式会社 データシステム

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

RCK-AS090-1602-MAB

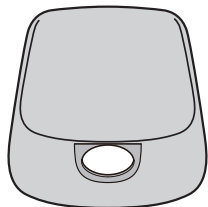
内容物一覧

■カメラ本体 × 1

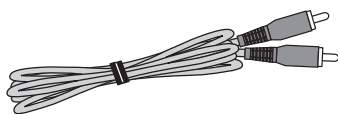


※ケーブル長4m

■カメラカバー × 1



■ピン端子ケーブル(4m) × 1



■電源ハーネス(3m) × 1



■コードクリップ × 4



■正像/鏡像切替コネクタ × 1

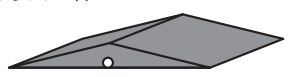
※電源ハーネスに取り付けられています



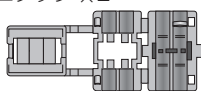
■脱脂クリーナー × 1



■防水ラバー × 1



■エレクトロタップ × 2



■防水グロメット × 1



■カメラカバー固定用両面テープ(細) × 2

■結束バンド × 4

■取付/取扱説明書(本書) × 1

■保証書
ユーザー保証登録カード × 1

注意事項の定義について

注意事項は「**⚠危険**」、「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**⚠重要**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
⚠警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
⚠注意	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
⚠重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいもの

使用上の注意

⚠カメラ映像は、ドアミラーやバックミラーなどと同様に、あくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用中は、必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。

①カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。

①カメラに電源が入った直後や、カメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいが変化することがありますが、これは周囲の明るさをカメラが検知し映像補正するために発生する症状ですので、故障ではありません。

⚠自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。

●本製品のカメラ本体は、必ずカメラカバーとセットで車両に装着してください。

①本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

保証について

本製品は、日本国内で車検を受けた車両専用設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。

万が一、日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんのでご了承ください。

●付属の保証書に必要な事項をすべてご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。

※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。

※保証規定は保証書を参照してください。

※保証書は如何なる理由があっても再発行致しません。あらかじめご了承ください。

仕様

■カバー部仕様

外形寸法	RCK-AS090B/P W90mm×H95mm×D31mm
材質	ウレタン製

- ⚠ ●付属の脱脂クリーナーで必ず脱脂してから両面テープを貼り付けてください。
●カメラカバーのサイズは、気温や湿度などの影響により若干異なる場合があります。

■カメラ仕様

有効画素数	32万画素	水平解像度	約450TV本
水平画角	110°	垂直画角	80°
TVシステム	NTSC	電源	DC9～15V
動作可能温度	-20℃～+65℃	消費電流	約40mA
出力タイプ	正像/鏡像	ヒューズ	1A

⚠カメラカバー用純正エンブレムは別途ご用意ください。

車両から取り外した純正エンブレムは使用できません。別途、純正パーツのエンブレムをご用意ください。

純正スズキエンブレム
スズキ品番 77811-58J10-0PG

取り付け上の注意

⚠電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。

⚠本製品は12V車専用です。

⚠製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱い業者でおこなってください。

⚠取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。ただし、バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。

⚠車両側及び本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り回しには十分ご注意ください。また、車内に水が浸入しないよう適切な配線処理をおこなってください。

⚠本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。

⚠車体から脱落しないようしっかりと装着してください。

⚠電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源ハーネスには電源回路およびヒューズが接続されていますので、これらを切断してしまうと正常動作しなかったり車両側の故障の原因となります。

●必ず車体最後部からはみ出さない位置に装着してください。車体最後部からはみ出してしまったり車体の全長が変わり、車検証記載事項の変更などが必要になる場合があります。

⚠付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは、別途延長ケーブルをご用意ください。

⚠バッテリーのマイナス端子を外す前に、オーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法は機器の取扱説明書をご参照ください。

⚠電源ハーネスのアース線は、塗装などが施されていない(金属が露出している)場所に接続してください。アース不良が原因で、本製品が正常に動作しない場合があります。

⚠シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性がある場所など、運転に支障をきたす場所には本製品を絶対に設置しないでください。

⚠本製品取り付けの際、静電気の帯電にご確認ください。静電気の放電によって機器が故障するおそれがあります。

⚠配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こすおそれがあります。

メンテナンスについて

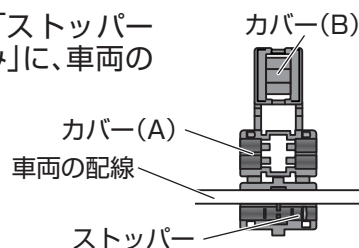
⚠カメラ本体及びカメラカバーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変色・変質・変形等の原因となります。

⚠レンズは定期的に、または汚れていたらきれいに拭いてください。ただし、拭く際は柔らかい布などに水を含ませ軽く拭く程度にしてください。強くこすったり乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

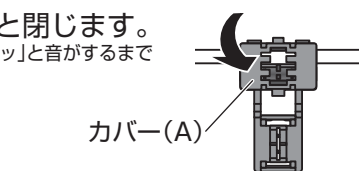
⚠本製品のカバーはウレタン製です。塗装するには専門の知識が必要ですので、塗装は専門業者に依頼してください。

エレクトロタップのつかいかた

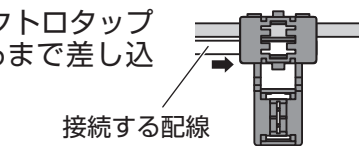
1. エレクトロタップの「**ストッパー**」が付いていないくぼみに、車両の配線を重ねます。



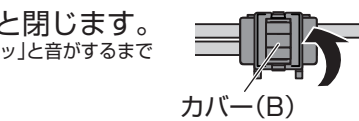
2. カバー(A)をしっかりと閉じます。
※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。



3. 接続する配線を、エレクトロタップのストッパーに当たるまで差し込みます。



4. カバー(B)をしっかりと閉じます。
※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。



保守部品の保有年数について

この製品は、補修部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、6年間に設定しています。

※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

故障かな?と思ったら

? シフトレバーを「R」にシフトしてもリアビューカメラ映像に切り替わらない。

純正ナビに取り付け

当社製リアカメラ入力ハーネスを使用している場合

- ・カメラのヒューズおよびコード類の接続をご確認ください。
- ・純正ナビのリアカメラ連動機能は正常に動作していますか?

市販ナビに取り付け

市販ナビのリアカメラ連動機能を使用している場合

- ・市販ナビのリアカメラ連動機能をONにしていますか?(市販ナビの取扱説明書をご参照ください)
- ・市販ナビのリアカメラ連動機能は正常に動作していますか?
- ・カメラのヒューズおよびコード類の接続をご確認ください。

市販モニターに取り付け(バックミラーモニターなど)

外部入力に直接接続している場合

- ・カメラのヒューズおよびコード類の接続をご確認ください。

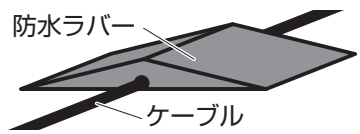
市販モニターのリアカメラ連動機能を使用している場合

- ・市販モニターのリアカメラ連動機能は正常に動作していますか?(市販モニターの取扱説明書をご参照ください)
- ・カメラのヒューズおよびコード類の接続をご確認ください。

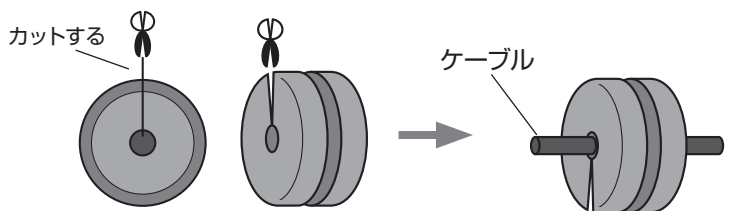
防水ラバー、防水グロメットのつかいかた

カメラのケーブルがトランクなどに噛み込まれると、隙間から水が入り込むおそれがあります。

付属の防水ラバーをはめ込んで、浸水を防止してください。

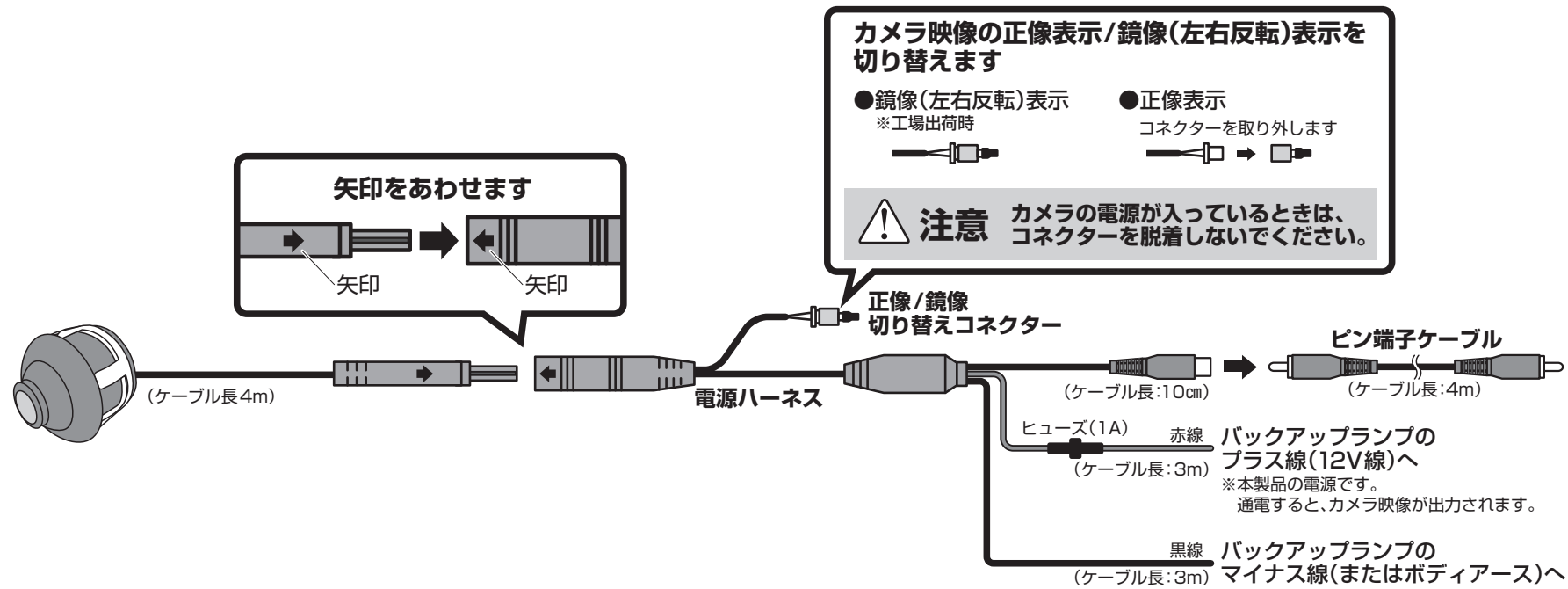


ボディの穴にケーブルを通す場合は、必要に応じて防水グロメットを使用してください。防水グロメットは一部をカットして使用します。



⚠ グロメットを使用する場合も、拡大した穴のコーキング処理および防錆処理は必ずおこなってください。

取り付け方法



市販ナビ・市販モニターに取り付ける場合

市販ナビ・市販モニター

- 市販ナビの場合
 - ・ナビの「リアカメラ連動機能」を[ON]にしてください。
 - ・詳しくは市販ナビの取扱説明書をご参照ください。
 - ・機種によって、別途リアカメラ入力用アダプターが必要になる場合があります。
- 市販モニターの場合
 - ・リアカメラ連動機能が動作するように、モニターの接続と設定をしてください。
 - ・詳しくはモニターの取扱説明書をご参照ください。

純正ナビ(メーカーオプション/ディーラーオプション)に取り付ける場合

別売 リアカメラ入力ハーネス

- リアカメラ入力ハーネスは、車種またはナビの型番で、適合する品番が異なります。当社webサイトで最新情報を確認してください。

純正ナビ (メーカーオプション/ディーラーオプション)

カメラの構造について

本製品のカメラ部は、下図のようにカメラ本体をOリングに押し付けて固定する構造になっています。本体カバーの締め具合で、カメラ本体の動きを加減できます。



取り付けの前に

カメラ本体が適度な手の力で動くか確認します。

カメラ本体を軽く押すと、動きやすくなります。

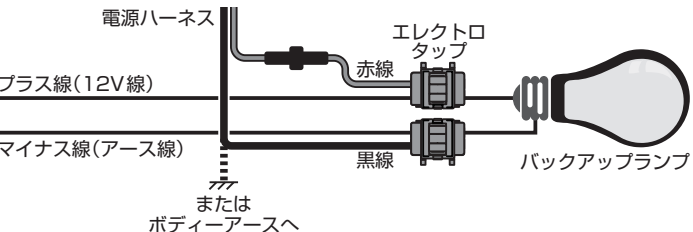


動かない場合や、軽い力で動いてしまう場合は、本体カバーを回転させて調整します。



赤線/黒線の接続

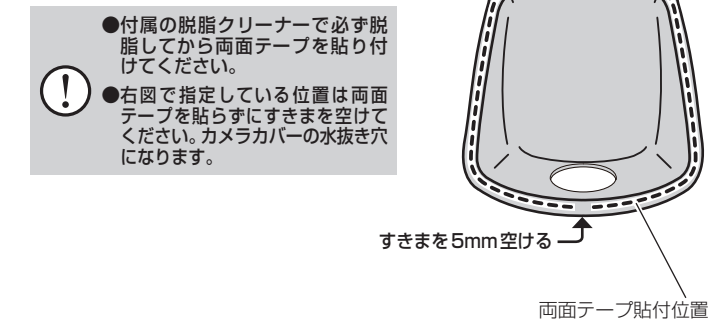
赤線は【バックアップランプのプラス線(12V線)】に接続します。黒線は【バックアップランプのマイナス線(アース線)】、またはボディアースに接続します。 ※ボディアースに接続する場合は、塗装されていない金属部分に、車両のボルトを利用して取り付けてください。



カメラの取り付け

カメラの取り付けをはじめる前に カメラの取り付けをはじめる前に、配線をすべておこなって映像が映る状態にしておくと、カメラの映像を確認できるので取り付け位置の調整がしやすくなります。

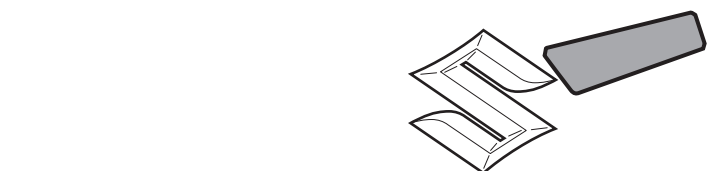
1. 付属の両面テープをカメラカバーの裏面に貼り付けます。



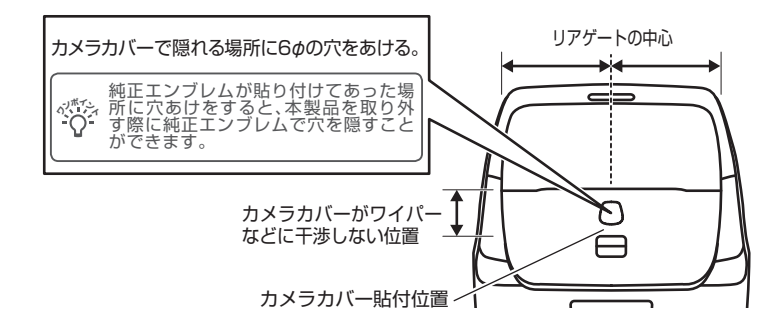
2. カメラカバーの表からカメラの配線を通し、カメラをはめ込みます。



3. スクレーパーなどを使用して、ボディにキズが付かないよう注意しながら純正エンブレムを取り外します。



4. リアゲートの内張りを取り外したあと、リアゲートの板金に6φの穴をあけます。

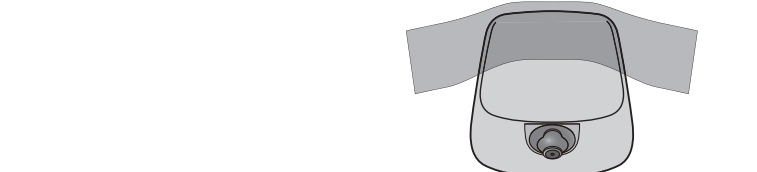


注意 穴あけ後は、穴周辺をタッチペンで補修するなどの適切な防錆処理と、車内へ水が入らないようコーキング処理を必ずおこなってください。

5. カメラケーブルのコネクターを穴に通し、適切に車内へ配線を引き回してハーネスと接続します。

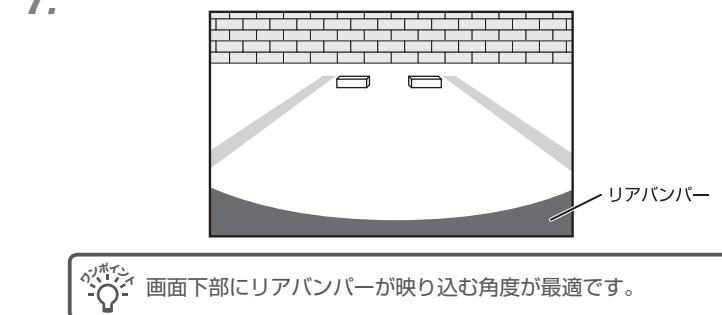
※配線はリアゲート開閉の妨げにならないよう、余裕を持たせてください。 ※必要に応じて防水グロメットを使用してください。

6. カメラカバーを装着位置に仮合わせして、ビニールテープなどで固定します。

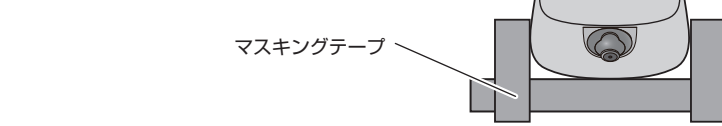


注意 カメラカバーに貼り付けた両面テープはまだ使用しないでください。

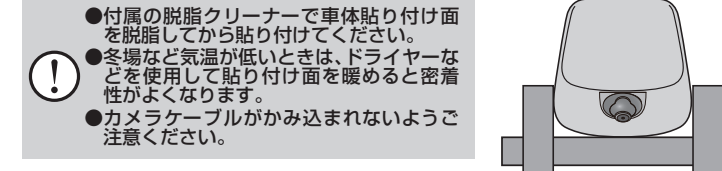
7. カメラを動作させてカメラの向きを調整します。



8. カメラの角度調整終了後、マスキングテープなどでカメラカバーの位置決めをします。



9. カメラカバーに貼り付けた両面テープの保護シートをはがして、カメラカバーをボディにしっかりと貼り付けます。



10. マスキングテープをはがし、カメラの向きを再調整します。

11. 別途用意した純正エンブレムを貼り付けます。



12. 取り外したリアゲートの内張りなどを元に戻します。